

# コウノトリの赤ちゃん誕生!!!

よこはま動物園ズーラシアでは、2019年4月8日(月)にコウノトリのヒナ(メス)が、  
ふ化しました。

当園では2006年以来13年ぶりの誕生で、今回は2018年2月に東京都多摩動物公園より  
来園したペアの子です。本年1月末より雌雄共同で大きな巣を作り始め、3月上旬に産卵しまし  
た。現在は、両親がエサを一度飲み込んで巣の上へ運び、ヒナへ与えています。

ヒナの健やかな成長を温かく見守ってください。



ヒナを抱いているメス(右)と見守るオス(左)



誕生したヒナ(メス)  
(2019年4月14日撮影)



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先			
よこはま動物園	副園長	渡辺 武志	Tel 045-959-1298

【参考資料】

■コウノトリについて

和名	コウノトリ
英名	Oriental White Stork
学名	<i>Ciconia boyciana</i>
分類	コウノトリ目 コウノトリ科
分布	ロシアアムール川流域、中国南東部
生態	ヨーロッパなどで繁殖する朱色の嘴をしたシュバシコウの亜種とされていましたが、大きさや性質などにはかなりの違いがあることから、現在では、別種として扱われています。シベリア南東部と中国東北部で繁殖し、冬季には中国南東部に渡って越冬します。日本でも1959年頃までは繁殖していましたが、現在では冬鳥としてまれに1羽から数羽が渡来するにすぎません。1956年に国の特別天然記念物に指定されて、2005年には兵庫県立コウノトリの郷公園において、飼育下で繁殖した個体の野生復帰を目指す試験放鳥が開始され、順調に生息数は増加しています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
当園飼育頭数	5羽 (オス2羽、メス3羽) ※今回生まれた子を含む
国内飼育園館	17園館 193羽 (オス99羽、メス94羽) ※平成30年12月末現在

■よこはま動物園の飼育状況

愛称	性別	年齢	特記事項 (血縁、繁殖歴など)
白藤	メス	21歳	兵庫県立コウノトリの郷公園生まれ
キコニア・タマコ	メス	16歳	東京都多摩動物公園生まれ、今回の繁殖個体の母親
橙	オス	12歳	よこはま動物園生まれ
ボイキアナ・ハシオ	オス	12歳	豊橋総合動植物公園生まれ、今回の繁殖個体の父親
未定	メス	0歳	よこはま動物園生まれ、今回の繁殖個体

(年齢は平成31年4月19日現在)

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート (18歳以上) 2,000円
- ◆開園時間：9:30~16:30 (入園は16:00まで)
- ◆休園日：毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園し、翌日休園) ※3月20日~5月6日までは無休
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアは、2019年4月24日に開園20周年を迎えます。